

## 「がん進展制御研究所セミナー (Nano-LSI Open Seminar)」を開催

2018年5月17日

5月17日(木)に、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、(公財)がん研究会がん研究所 発がん研究部部長 中村卓郎先生をお招きして、がん進展制御研究所セミナーを開催しました。

セミナーでは、「骨軟部肉腫の発生進展機構」という演題で、Ewing 肉腫や CIC-DUX4 肉腫などの原因遺伝子の解析から、腫瘍発生を再現するマウスモデルの開発研究について講演していただきました。これらの肉腫病変の発生母地の探索から、腫瘍発生および悪性化のメカニズムなど、最新の研究知見をお話し頂き、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約 30 名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



## 骨軟部肉腫の発生進展機構

講演者:(公財)がん研究会がん研究所 発がん研究部  
部長 中村 卓郎 先生

日時：平成30年5月17日(木) 17:00～18:00

場所：金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室

中村卓郎先生は、希少がんである肉腫に着目したモデル研究を推進しており、最近も新規肉腫モデル開発に成功しました(Cancer Res, 2017)。骨軟部肉腫の多くにおいて、融合型転写因子が原因遺伝子として発症に深く関わっていて、EWS-FLI1やASPL-TFE3などの融合遺伝子をマウス胎児間葉系細胞に導入したモデルを用いた、発症機構や転移機構の解析について紹介していただきます。肉腫研究は、今非常に重要なトピックです。

皆様、奮ってご参加ください。